# 「令和7年度　第一回ふくい宇宙産業創出研究会 公開セミナー」 開催報告

ふくい宇宙産業創出研究会では、宇宙ビジネスに関わる企業のキーパーソンを招き、県内企業に向けて宇宙ビジネスや先端技術の動向に関する情報を提供しています。これまで福井県では企業や大学など様々な機関が連携し、人工衛星の筐体製造、データの利活用、人材育成など、宇宙産業への取り組みを進めてきました。現在では、技術力を備えた県内企業が増えたことで、「ビジネスとしての発展」が期待されています。

今回のセミナーでは、部品ビジネスの事例や認証取得の実体験など、貴重な情報を共有しました。

## 「令和7年度　第一回ふくい宇宙産業創出研究会 公開セミナー」概要

**日時：**令和 7 年 11 月 21 日(金)　13:30～17:15

**場所：**福井県工業技術センター　講堂

**参加者：**48 名

**主催：**ふくい宇宙産業創出研究会

**内容：**

**◆公開セミナー「今後の宇宙・部品ビジネス」**

**「スペースデブリ(宇宙ゴミ)観測衛星について」**

**株式会社アストロスケール MD 室 コンプライアンスグループ　岡崎　雅彦　氏**

コンステレーションによるゲームチェンジをキーワードに、デブリ回収や、推進剤の空中給油など、㈱アストロスケールが取り組む、宇宙の持続開発を可能にする軌道上サービスについてご紹介いただきました。宇宙ビジネスを始めるための 6 つのステップ(自社技術の棚卸と宇宙ニーズの理解、品質・企画への対応準備、試作・共同開発への参加、ネットワーク構築と情報収集、受注・納入体制の構築、継続的な改善と実績の蓄積)についてもご教授いただきました。

参加者からは、デブリの回収後の再利用に関する質問がありました。

**「宇宙に運用するための電子部品の信頼性試験**

**～車載と宇宙航空向け要求比較、民生品の宇宙への運用検討～」**

**沖エンジニアリング株式会社**

**信頼ソリューション事業部 評価第1グループ グループ長　出口　泰　氏**

近年のニュースペース企業の参入による変革により、電子部品については、コスト削減や開発スピード向上のため、民生品採用の動きが拡大していること、民生品の加速度センサの宇宙転用のためのスクリーニングの流れや、JAXA が提供する民生品の宇宙転用ガイドライン(JERG)について紹介いただきました。

参加者からは、事故発生時の瑕疵に関する質問がありました。

**「軽量金属加工分野での航空・宇宙分野への進出～研究会の支援を受けて～」**

**トーヨーマシックス株式会社 代表取締役　竹内　秀和　氏**

衛星の打ち上げコスト削減のために、軽金属利用による軽量化が今後重要になること、その材料として、トーヨーマシックス㈱が取り組むマグネシウムの加工と、同社が保有する大型の 5 軸加工機等について紹介いただきました。

参加者からは、マグネシウムの切削以外の加工品の宇宙部材への利用可否について質問がありました。また、利用した補助金についても質問がありました。
（R5 年度　ふくい産業支援センター　産総研シーズ活用可能性試験調査研究支援事業、
R6-7 年度　福井県　県内産業価値づくり支援事業）

**「進工業の宇宙に関する取り組みと NASA 認定について」**

**進工業株式会社 経営戦略室 執行委員 金牧 信二 氏**

テスラ社での採用をきっかけとして、NASA の認定を取得された経緯についてご紹介いただきました。薄膜の抵抗のみを 60 年にわたり取り組んできたことで得た製品の信頼性の高さと、アメリカでの言葉の壁を逆に武器として PR を行った実体験についてお話いただきました。

参加者からは、どのような苦労があったかについて質問がありました。

**◆ふくい宇宙産業創出研究会会議　研究会活動報告**

**・研究会規約改正について**

事務局長の廃止を決定

**・事務局報告および活動報告**

今年度の広報関連の活動実績を報告

㈱アストロスケール岡崎氏

沖エンジニアリング㈱出口氏

トーヨーマシックス㈱竹内氏

進工業㈱金牧氏

問い合わせ先：ふくい宇宙産業創出研究会事務局 （福井県工業技術センター）元山、岸本
電話：0776-55-0664　E-mail：f-space@pref.fukui.lg.jp